

東成区障がい者基幹相談支援センター

住澤 祥子

私のおススメ：オンラインゲーム

初めまして、去年度より職務限定職員として東成区障がい者基幹相談支援センターの配属になりました、住澤と申します。

センターには、頼もしい魅力的な職員が揃っていて、それぞれの個性を活かすことができていると感じています。

趣味はオンラインゲームで、特に非主流派なゲームに情熱を注いでいます。何度も組んでいる相手だと信頼全開で、言葉に出さなくてもそれぞれの役割を担い、攻略できた時には圧倒的な達成感でいっぱいです。

好きなゲームでは独自の「縛りプレイ」を追加して楽しんでおり、仕事や私生活においてもゲームから色々着想を得ています。

至らぬ点も多いかと思いますが、どうぞよろしくお願いたします。



東成区障がい者基幹相談支援センター

銭谷 亜紀

私のおススメ：素敵な自宅空間を作りたい

仕事をはじめて20年以上、子どもができてからの仕事生活の方が長いので、子どもの学校生活やリズムに合わせたスタイルで仕事をしてきました。今後、子どもたちが巣立つ(であろう希望ですが)未来も見えてきた今、自分の仕事や生活スタイルも改めて考えるようになってきたこの頃です。仕事だけでなく、それ以外の生活時間をより充実するためにも、まずは自宅

での生活を快適に。というわけで、今の私の関心ごとは、家の中の物を断捨離とまではいなくても減らして、自分の好きな物や



使っている物だけにして、物の管理から自分を解放し、素敵な自宅空間を作りたい。そんな思いで日々、お片付け動画をみたり、自宅内の物の配置をあれこれ考える時間も楽しいものです。

そして、そんな理想とはまだまだ遠く、散らかるリビングというのもこれまた現実です。

令和7年度の事業計画と予算について

3月25日に理事会を開催し、令和7年度における事業計画と予算が承認されましたので、それぞれについて概要をご報告いたします。

事業計画について

大阪市手をつなぐ育成会(以下、市育成会という)が平成7年(1995年)12月に設立されてから、障がいのある方を取り巻く状況は変化し、法制度改正から営利法人等の参入や、報酬改定では事業形態の変化など様々な影響を受けています。また、各事業所利用者の高齢化、障がい程度の重度化、建物や設備の老朽化による建て替えや大規模改修なども課題です。

このような現状の中、令和7年度では次の3点を重点ポイントとして位置付けました。

(1) 建物整備について

修繕はもとより、利用者の高齢化と障がいの重度化に対応できるようにバリアフリー化の工事も含めて検討していきます。

(2) 事業展開について

従業員の確保が最優先ですが、事業収入を伸ばすためには、新たな事業の実施も検討と並行して既存事業の充実もするため、新たなチャレンジに向けて調査や研究をしていきます。

(3) 人材確保について

以前より新たな従業員確保が難しい状況ですが、採用ホームページも構築し、来春には採用ができるよう取り組みます。

コロナ禍を契機に価値観も変化しており、時代の潮流に遅れないように変化に機敏に対応するとともに、新たな発想があれば取り入れる事を含め、役員や職員と一緒に検討を進めていきたいと考えています。

予算について

収支の大半を占める「事業活動による収支」のうち、収入の障害福祉サービス等事業収入では、令和6年度で各事業所で算定していた、重度障害者支援加算の算